

ハンサムカップル「新島襄と八重」後編

講師 同志社大学神学部教授 本井 康博

秋学期 5回

月1回 2クラス編成

クラス1 14時～15時30分

クラス2 16時～17時30分

維新前に脱国した新島襄は、アメリカで大学を卒業し、牧師となって帰国しました。キリスト教の学校をつくりたいと奔走中、京都で会津藩出身の山本八重に出会います。新島襄は八重のことを「その生き方がハンサムなのです。」と「アメリカの母」ハーディ夫人に書き送っています。生き方がハンサムとは？八重はどんな女性だったのでしょうか？維新後の京都で目立っていたという二人はどんな夫婦だったのでしょうか？出会うまでの二人の人生とその後を最新研究成果とともに解き明かします。後編では、同志社開校や新島夫妻がテーマに登場します。

各回 講義テーマ

第1回 同志社開校に果たした山本兄妹の役割 —同志社と会津—

第2回 カップルとして見た新島夫妻 —山本八重子から新島八重へ—

第3回 新島夫妻による女子教育の開拓 —時代の中の先駆者—

第4回 八重のメンタリティー —会津魂と信仰の両立—

第5回 新島宗竹 —会津人・茶人としての八重—

第1回 10月12日 金

第2回 11月16日 金

第3回 12月21日 金

第4回 1月25日 金

第5回 2月22日 金

受講料
一括 12,000円
各回 3,000円

講師プロフィール 本井 康博氏 同志社大学神学部教授

同志社大学神学部教授 博士(神学)。1942年愛知県生まれ。同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了。高校の社会科教諭、教頭を経て2004年から現職。大学では「同志社科目」(新島襄と同志社史)を担当。著編著は約40冊。学術書のほかにマンガ新島伝や新島に関する岩波文庫(全3冊)を編集。現在、『新島襄を語るシリーズ』全10巻を刊行中。2012年2月に9巻目『マイナーなればこそ』を発売。2010年7月刊『ハンサムに生きる—新島襄と語る(七)—』では初めて「八重夫人」にも焦点をあてた。今年には新島八重のマンガ監修と新島八重の単行本2冊の出版を予定。うち1冊は2012年6月に、新島襄を語る別巻(一)として『日本の元気印・新島八重』を出版。

「グローバル経済の読み方」

講師 同志社大学ビジネススクール教授 浜 矩子

秋学期 5回

月1回 金曜日
19時～20時30分

講義は浜教授の同志社ビジネススクールにおけるスタイルと同じ形式。最新課題をテーマに設定しそれに関する受講生からの質問をベースに講義が展開します。時事的トピック、話題の経済事象を題材に、受講生の皆さんと「グローバル経済」の真相に迫ります。

各回の流れ

第1回 11月30日 金

第1回 グローバル経済に関わる旬のトピックを題材に講義～討論
終わりに次回「キーワード」を発表

第2回 12月21日 金

第2回
第4回 受講生からの「キーワード」に関する質問に基づき講義～討論

第3回 1月25日 金

第4回 2月22日 金

第5回 受講生の発表と討論 レポートテーマは4回目に発表。
レポートに基づき各自のスピーチ(5分間)～討論で最後を締めくくります。

第5回 3月15日 金

特徴【受講生の質問が講義をつくります】

2回目以降は「キーワードに関する質問」をつくるという宿題が課せられます。講義は受講生の質問からスタート。浜教授がその質問に答え、一見無関係に思える質問が脈絡をもってつながり真相がみえてきます。まさに受講生とともにグローバル経済の真相を読み解いていく90分です。

受講料 (一括のみ)
一括 50,000円
定員 15名

講師プロフィール 浜 矩子氏 同志社大学ビジネススクール教授



東京都立戸山高等学校、一橋大学経済学部卒業後、1975年三菱総合研究所入社。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所所長兼駐在エコノミスト就任。1998年三菱総合研究所主席研究員・経済調査部長。2002年秋より同志社大学大学院ビジネス研究科教授、2011年ビジネス研究科長に就任。専門は国際経済学。講義の合間を縫って各局の時事・ニュース番組にマクロ経済に関するコメンテーターとして出演多数。毎日新聞、日経新聞、中日新聞、東京新聞、京都新聞、The Japan Times、仏Les Echos紙、Open Democracy、毎日エコノミスト誌、月刊「中央公論」、ビッグイシュー、Cafeglobe.com等、内外の新聞・雑誌に常時コラムを執筆。

近著：『EUメルトダウン 欧州発世界がなくなる日』(2011年12月 朝日新聞出版)『恐慌の歴史～"100年に一度"の危機が3年ごとに起きる理由』(2011年11月 宝島新書)『ソブリンリスクの正体』(2011年11月 フォレスト2525新書)『2012年 資本主義経済 大清算の年になる』高橋 兼宜/共著(2011年11月 東洋経済新報社)『誰が「地球経済」を殺すのか 真相を読み解く7つ道具』(2011年9月 実業之日本社)『「通貨」を知られば世界が読める』(2011年6月 PHPビジネス新書)『成熟ニッポン、もう経済成長はいらない それでも豊かになれる新しい生き方』橋本俊昭/共著(2011年10月 朝日新書)『中国経済 あやうい本質』(2012年3月集英社新書)『「通貨」はこれからどうなるのか』(2012年4月PHPビジネス新書)